

SADA

SAKAI DESIGN ASSOCIATION

堺デザイン協会

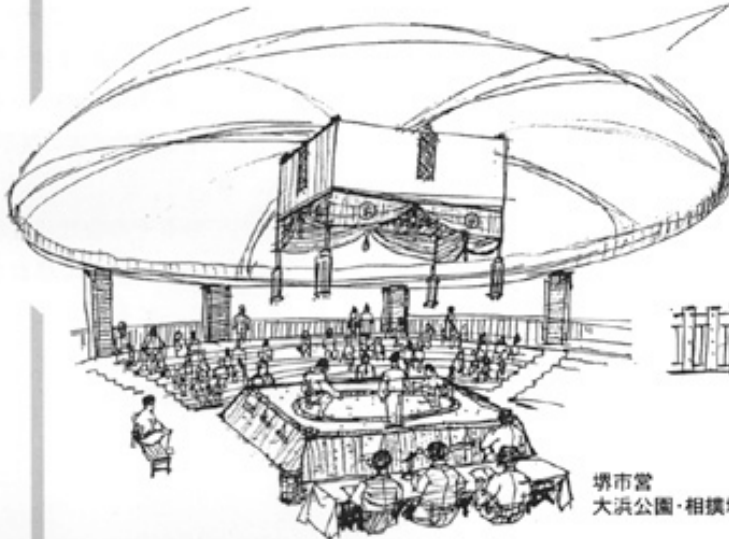
NO. 22
2002年10月



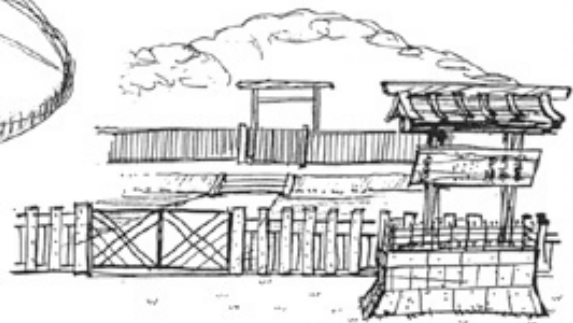
旧堺燈台



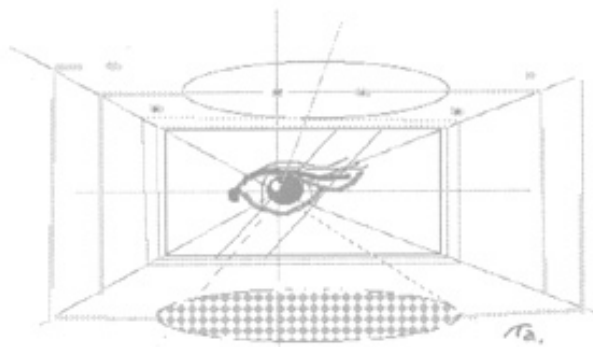
堺鉄山
一等三角点



堺市営
大浜公園・相撲場



百舌鳥耳原中陵



『おもしろいこと、 柔らかな発想から …する。』

堺デザイン協会 発想担当記者



どうもデザイナーの元気がありません。『そらそうでしょうヨ!』と、元気な声でデザイナーがおっしゃる。みんながそうで、世の中がそうなんだとおっしゃる。そして、下を向かれる。でも元気を探して頑張っているのです。

基準が変わったのです。『サービスは有料で高いものなのです。』ではなくて、お客様のために無料奉仕をするのです。お代は次のご利用の時に払い下さい。

☺ 第1話『お楽しみ下さい。パソコンゲーム!』☺

私のパソコンについての苦惱奮闘記は、無限にあります。みなさんはどうされているのですか?。仲間に話してみましたが、かみ合わないのです。ゴルフ話のように、テイクバックはどうとか、コース戦略とかなど仲間の熱い議論が盛んですが、パソコンについてはあまり議論が見られません。多分、思いますに、一人の世界であることと、メーカーが毎年のようにちょっと出しに新機種に変え、操作ソフトを変えるから、『私の場合、こうこう・・・』が多すぎて、それは特殊な話題とされ、いわば孤立してしまうからだと思います。



パソコン業界諸君! 誠にお客様を忘れた、チョット出し販売のバブルはもう見抜かれているのに、懲りずにやっていますね。プロ用で儲けているのですが、家庭用のお客様をバカにしています。やがては

- (1) 資源の無駄使いとゴミ製造責任の追求を負う。
- (2) 多機能過ぎて高齢者に使えないので通信機となるか、見向きもされなくなる。

(3) 人間の触れ合いを無くする諸悪の根源とされる。筆者もちょっとその犠牲者であります。

私のマッキントッシュG4にADSLとかいうインターネットを繋ぎました。かなりの時間を使って、とりあえずの使い方で、Eメールや、ホームページを見始めました。ある時『ショックウエーブ』とかいう会社から、無料のゲームを取り込めることが分かりました。その中に『ビボパブロック』と『ボーリング』というゲームがありました。『ボーリング』は本当にマウスだけでボーリングができます。ボールがレーンを転がる音。ストライクを取ると『クワーン!!』という音、そしてカーブもフックも投げられ、スプリットもメイクできます。『ビボパブロック』は昔、新入社員の時、喫茶店でテーブルの組み込みゲームに凝ったことがありましたが、それです。インベーダーの前のもので、ボールを打ち返すと上のレンガのようなブロックを消して行き、次の画面に進み点を競うものです。懐かしいため、以前子供達にそんなゲームは無いかと尋ねても『そんな無いで』と言われていたので、正直言って嬉しかったのです。シンプルさは変わっていませんが、音や色、次のステージのモダンさには、数日はまって楽しんでいました。子供達にも楽しんで貰いましたし、パソコンで無料で取り込めたと言いましたら、感心されました。

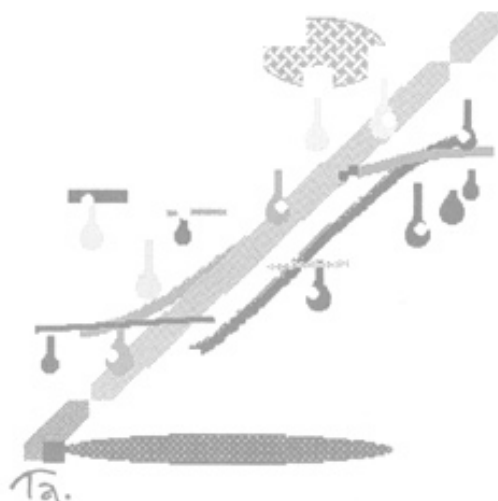
子供達が遊びにくるとゲームボーイとか、TVゲームを持って来て、散々に負けます。マリオの冒険の旅などです。今年は大人がはまったらしい『～君の夏休み』というベストセラーがあるそうです。TVの中で『カブトムシ取り』や、『小川での水遊び』が出来るそうですが、大人が座り込んで、長時間遊んでいます。それはどうかなアと世間の話題となっています。永久の名作ゲームかも知れないと、徹夜して並んでソフトを買う若者の気が、私には分らないではありません。

無料でシンプルゲームを配信しているその会社に『ただで利用していいのでしょうか?』とEメールで尋ねましたら、『どうぞお楽しみ下さい。さらに有料のゲームもどうぞお試し下さい。』とのサービスである。私は『試供品』で充分楽しませていただいております。

パソコンは万能の道具です。製図機にもなり、お絵かきキャンバスであり、写真加工や動く映像の加工も出来、そして経営判断の数字計算も出来ます。そして郵便ポストに行かなくても手紙が同時に何人にも送れるのです。そんな通信機器の働きまで付けられるのです。情報の公開が早くなったことは人類にとって、大変な革命をもたらしたことは事実であります。

多くの若者がソフト開発のアイデアを創作しています。「遊び」のためです。それも一人楽しむ事が多い、遊びであります。それが輸出産業でもある。ゲームは時間の無駄遣いだと思っています。そしてほかにやるべきことがいっぱいあるはずだ、と思っていますが、もう言えなくなりました。自分も無料ゲームを楽しんじゃっています。でも考えたソフト(=デザイン)のシステムを組み上げて苦勞し、しかも無料で配っている。これは問題だ。無料はイカンよ。でもお客様はよろこぶのです。

ここは大きい気分で言わねばならないのでしょうか。やっぱりデザイナーの活躍の世界が広がり、産業の宇宙でかなりデザインが大きくなり、寛大になり、「お金、デザインフィー、ローヤリティー下さい」などとは言わなくなったのでしょうか。すべてのシステムが動く中で設計の価値は相対的に上がっているのですから、そして企業が成長しているのですしたら、私ごとき者へも無料でゲームをくれるのでしょうか。小さくなりたくないものですね。



第2話「3万2千人の大観衆の舞台に立つ。」

「7月17日にスピードガンコンテストが当たったのよ。保護者として、行ってやってちょうだい。」

なんのことかよく分からない。でも、おまけとして、甲子園球場での阪神、広島戦を招待で見れるとのことである。「祇園祭りの暑い日に、ナイターを孫と行くの?」

「そうよ、お願い。いいでしょう。」と嫁いだ娘。

プレーボールは午後6時。スピードガンコンテストの集合時間は午後4時50分。

当日、好奇心で久しぶりに甲子園球場を訪れた。孫と早く行き過ぎたので、球場の外を半周して改めて甲子園球場という建物をよく見た。知らなかったがコンクリート打っ放なしの建築である。蔭で風合いがあるが、大正時代の打っ放しでもう老朽化している。それと外部から見ると4~5階建ての低い建物だ。映像で見ている「憧れの甲子園」も、こうして冷静に見ると、少しがっかりである。噂では甲子園もドーム球場化が計画されているようである。私ならフル開閉式の屋根で、天然土で天然芝、雨の日以外は屋根を閉めない球場としたい。甲子園ボウルも開催、甲子園サッカーも、大阪の演歌もやればいい。ただ改めてほしいのは、今の観客席の幅38cmの小さな椅子は45cm幅に広げること。そして、前の席に膝が当たる狭さは解決して欲しい。そして5万5千人入れること。そんな元気の出るスペックを提案する。

やがてスピードガンコンテストの受付での美人のお嬢さん。「今日はスピードガンコンテストに応募載きまして誠にありがとうございます。一般の方のAさん、小学生6年のB君。そして小学2年生のC君、あアお孫さんですか。どうも。本日はこの3名の方に挑戦していただきます。ご父兄の方は、お子さんを責任を持ちましてお預かりいたしますので、この2席の招待券のお席でごゆっくり試合をごらんください。スピードガンコンテストが終わりましたお子さんをお席まで私がお連れ致します。阪神タイガースの選手との記念撮影と、阪神ベンチ訪問、そしてスピードガンコンテストとなります。約1時間10分お子さんをお預かりいたします。」

私は、孫から解放され観覧席に向かった。なんと、バックネットすぐ後ろの5列目の席であることに驚き、目の前を山本浩二監督や島野コーチ、アリアスなどがうろうろ

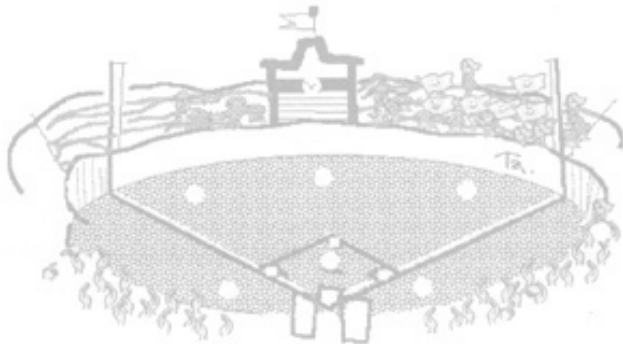
する席である。テレビに写るであろうから、ビデオを取るように娘に携帯電話をする。阪神ベンチの方を見ると孫と参加者2人が、浜中選手と金沢投手、トラッキーの縫いぐるみとお嬢さんとで記念写真を撮っている。終わると、試合前の阪神ベンチの横で買った黄色のTシャツを来てベンチの横で出番を待っている。

やがて、まだ先発の井川投手も踏んでいない綺麗なピッチャーマウンドに3人が集まる。孫にマイクを向け、『何年生ですか。まア！2年生ですか、頑張って投げてください。』3万人の観客から大きな拍手。ベンチで借りたグローブを付け、第一球！ワンバウンドしたがキャッチャーのミットへ。第二球はエイッとなんと直球のストライク！。キャッチャーは90番台ではあるが阪神の捕手である。バックスクリーンの大型ビジョンに写り、75kmの表示が出た。

試合が開始して、すぐにあの綺麗なお嬢さんに連れられて孫が戻って来た。

『お父様、お子さんをお連れしました。これが認定書です。』75km認定され、孫の名前まで印刷してある。

『おじいちゃん、おみやげを買ったヨ』という。手提げ紙バックを見ると、阪神の帽子とサインボール、応援拍手のプラスチック帽子と扇、タイガースのTシャツと記念の写真などである。最敬礼で阪神のお嬢さんにお礼を言った。試合が始まると、『1番、セカンド今岡』のアナウンスがあり、外野の応援団の応援歌に合わせて、孫が唄い始めた。私は驚いた。



『燃える闘魂、この一振りに、うなれ今岡、誠の救世主！カットバセ今岡！』と大声で歌う。孫の大声にびっくりした周りの熱狂トラトラおばさん唾然。そこまでは歌詞を知らないから、『ボク、代表して歌ってね！』と一致

団結して応援が始まった。

『そうそう、かつ飛ばせイマ岡！』えらーい元気が発揮されだしたバックネット裏である。TVにも写っている。タダである。阪神球団の物凄いファンサービスにほんとに感動したのである。元気になるシステムを持っている。甲子園球場は素晴らしい感動を提供しているところだと、心から思ったのであります。



堺デザイン協会も元気を出して通常総会を終わり、総会の準備中のミーティングでの意見や、総会、懇親会の時の色々な意見をまとめつつあります。タイトルは「会員にデザイン ビジネスチャンスを開こう！」ということにまとめられそうです。でも希望のみで、まだちょっと早いのです。もっと理事会に、元気とご意見をいただかねばなりません。

今回、会員全員に働きかけ、『おもしろい・・・から、柔らかい発想で・・・しようヨ』と呼びかけました。みなさんより戴きました投稿を、ご覧戴きたいと思います。元気になれます。でも、もっともっと柔らかい発想が欲しいのです。お読み下さい。

毎号、巻頭に理事長のお話をいただいておりますが、元気な理事長には筆を休めていただき、愚筆が恐れ多くも巻頭を汚しました。愚才能の発想理事がピントをずらした世間話をご覧戴きましたが、この程度か、とご笑納下さいますようお願い申し上げます。これがこの会報22号の狙いでありませぬ。
(文責在・館野記者)

『酒のみ』

垣村三平

酒には、どぶろく（濁酒）と、にごり酒（清酒）があることは、酒のみはよく知るところである。

どぶろくは、蒸した酒造米にこうじと水を加えて醸造しただけで、粕をこし取らない雑酒。一方、にごり酒は、どぶろくを荒くしたもので、やや白濁していて、濾すという操作をして、酒税法上では清酒とされている。

大正生まれの私は、酒を飲み出してから凡そ60年、いまだにこの縁がなかなか切れそうもなく、飲み量は若いときと比べて減ったものの、殆ど毎晩といってよいほど、清酒をありがたく頂いている次第。

それは、兵役時代に酒を飲むことを上官に仕込まれ、いつしか酒好きになって、終戦時にはヤミ市を友と共にどぶろくを飲み歩き、心地よく酔った覚えがある。

ところが、食べるにしても、飲むにしても、何の不自由もなくなった現在の飽食時代では、酒飲みは、ますます贅沢になって、清酒の2級・特級酒に飽き足らず、よりぬきの酒造米を丁寧に醸造した吟醸酒を好んで飲むようになり、先のどぶろく酒には見向きもしなくなったし、酒屋でもすっかり姿を消してしまった。

酒のみは、清酒のほかに焼酎、ビール、ウイスキーなどを、個人個人の好みによって飲んでいるが、中でも清酒の味は、他の酒類と比較して口ざわりがさわやか、しかも飲んだあとのほのほのとした余韻が、なんともいえない気分を感じさせ、身勝手な理屈をつけては、飲み続けているのではなからうか。



また、酒のみは、酒にまつわるエピソードを、古今東西、数知れず残しているようだが、こんな話も伝えられている。それは「大坂の淀川下りの船の中で、酒豪で知られる柘屋甚兵衛門と、酒屋の手代がばったり出くわし、二人は賭をする。手代が曰く“酒樽をひと息に飲めば、お代は決して頂きません”と一斗樽を渡すと、柘屋の旦那はグイグイと実にきれいに飲み干した。」この酒豪の評判を伝え聞いたお上は、早速柘屋を酒席に呼んだところ、彼はそんなことで招待されたのでは酒はうまくない。酒は自分の楽しみで飲むときっぱり断った。



この小話の中の柘屋は、世に並ぶものなしの酒豪でありながら、お上の招きを断わり、いかに好きな酒であろうとも、ホロ酔い程度の適量を見つけ、楽しく飲むことの鉄則を酒のみに教えているのである。

酒は昔から、「酒は百薬の長」といって、適度に飲めば、どんな薬よりも効能があるといわれているが、酒のみは、そんなことは百も承知の上で、つついオマケがついて、大量に飲むきらいがあり、これからは自分自身を含めて、飲みすぎないように心がけ、また柘屋の言っているように日々楽しく飲みたい。

『中国の家具事情』

伊藤浩平

今年の2月から中国でのデザイン活動に興味を持ちはじめ、7月から本格的に中国企業との契約がスタートした。

友人のテキスタイルデザイナーと合同で「家具とファブリックの総合デザイン提案ができる日本人デザイナーユニット」という名目で知り合いにかたっぱしからコンタクトした。

半年動いてなんとか2社と契約を交わすことができ、やっとスタートしたばかり、というところだ。まだまだ、商売などというレベルではない。

しかし、まったく意味を感じないODAによって搾り取られている血税を取り戻すべく、たとえわずめの涙とはいえ少しなりとも中国から外貨を獲得してやろうという気概に燃えているのだ。なんていうと、少し大袈裟か。まあ、この話は別の機会に譲るとして。



私はそれまで中国には行ったことがなかったので、クライアントから聞くような非常に衛生状態や治安のよろしくないところとばかり思っていた。ところが、初めて訪れた青島はほとんどリゾート地のような風情で、全くマイナスなイメージはふっとんだ。青島から上海へ移動していったのだが、会う人会う人次から次へと凄まじいパワーとやる気に満ちあふれている。

日本のこの現状からは考えられないくらい、オイシソウな話も飛び出してくる。そのパワーにつられて、

つい全部受け入れたいくなるが、ここではいよいよ乗っかってはいけない。それでどれだけの人間が今まで痛いめにあってきたことか。

しかし、そんな事を言っただけで警戒ばかりしていたのでは話は前には進まない。そんなこんなで葛藤をくり返しながらかみ進んでは4歩戻っている。(期待が大きければ失望も大きいのだ、中国は。)

中国の家具の産地と言えば広州などの南の方に集中している。広州交易会に行けばヨーロッパの展示会は行かなくても良いと言われるくらい、デザインの流入は早い。

主な輸出先が欧米であるためだが、ご存知の通り国内需要にむけた展開も十分大きなマーケットとして中国人自らが意識し始めている事もある。

中国の住居は(都心部)建物だけで売られたり貸されたりするので、内部空間はすべて自分達で調達しなければならない。靴を脱ぐ習慣はないので、いきおい、欧米式を目指す事になる。

上海に「IKEA」がある。北欧生まれの大型家具ショップだが、昔は日本に進出した事もあった。しかし日本の生活・商習慣には合わず、撤退となった。

上海のIKEAは、平日でもびっくりするほど賑わっている。それは、単に欧米ライフへの憧れだけで展示を楽しみに来ているだけではなく、大きなショッピングバッグが一杯になるほどしっかり買い込んでいるのだ。

上海の一般的な月給は日本円で約20,000円くらい。確かにIKEAの商品は圧倒的に安いですが、それでもその給料で簡単に買える物ではない。

もちろん、富裕層も増えてはいる。だが、平日まで一杯になるほど富裕層ばかりのはずはない。そこに、上海の数字のトリックがある。

上海にスターバックスもあるのだが、コーヒー1杯が何と日本円で7,000円位になる。しかし、いつも若い人達であふれている。なぜか?上海市の人口はなんと1,500万人。1年に1回だけ来た人たちだけでも一杯になってしまうのだ。前述のIKEAしかり。

上海の発展振りは本当にすさまじい。1ヶ月で街が変わる。店もセンスアップする。「新天地」と呼ばれる再開発地区などもっとも顕著である。

先月行った、評判だというインテリアショップ。パツと見の形だけは実にカッコいい。

しかし、じっくり観察すればアラがたくさん見えてくる。やっぱりまだまだ日本人のセンスにはかなわないなどと安心してた。ところが今年行ってみてびっくり！格段にいい感度の商品がセレクトされ、ディスプレイもすばらしく人を引き付ける。いったい、どういうスピードなのか。

ある人は、中国は「中ヌキ」だ、という。いっぺんに未来へワープしてしまった、という感がある。まだまだ、中身が追いついていない。確かにそれは感じる。しかし、そんなものが埋まるのはあつという間だろう。家具工場へ行くと、最新の機械がズラリと並んでいる。その横で、若い工員がこれまたズラリと並んで、べたべたと美しい木目の紙を質の悪い木の上に貼っている。実に鮮やかな手付き！機械ではできないようなことも、人数に任せてさらりとやってのける。この柔軟性が中国の強さではないか。

まだまだ奥は全然見えてこないが、深い事だけは良く分かる。興味が尽きる事のない国、中国。初めてのサンプルがもうすぐ上がる。

堺デザイン協会賛助会員

アルスコポーレーション株式会社

〒590-0939 堺市九間町西2-2-32 TEL0722-29-2070

株式会社和泉利器製作所

〒590-0934 堺市九間町東1-1-5 TEL0722-38-0888

大阪ガス株式会社

〒590-0973 堺市住吉橋町2-2-19 TEL0722-38-2335

大塚オーミ陶業株式会社

〒540-0021 大阪市中央区大手通3-2-21 TEL06-6943-6695

河盛泰三

〒590-0023 堺市南三国ヶ丘町3丁5-4

堺商工会議所

〒591-8025 堺市長曾根町130-23 TEL0722-58-5581

ばいこう堂株式会社

〒550-0013 大阪市西区新町3-4-3 TEL06-6532-5460

堺デザイン協会の正会員・賛助会員の募集

堺デザイン協会では、広くいろいろな分野のデザイナーの正会員を募集しています。堺市に勤めているか、または住んでいる方、または堺市でのデザイン活動に興味のある方が、会員になれます。また、主旨にご賛同いただき、企業および個人で、堺市を中心とした地域でのデザイン振興や啓蒙にご尽力いただける賛助会員を募集しております。

若い方で、デザイン界での交流、啓蒙の機会を求められる方はぜひ、ご参加下さい。

正会員・年会費 12,000円

賛助会員・年会費 30,000円

申し込みご希望の方は、事務局に資料をご請求下さい。

電話/FAX. 072-287-4466

総務担当理事 岡村哲伸まで



賛助会員 活動のご紹介

近代醤油醸造のさきがけ

賛助会員 河盛泰三
(大醬株式会社取締役相談役)

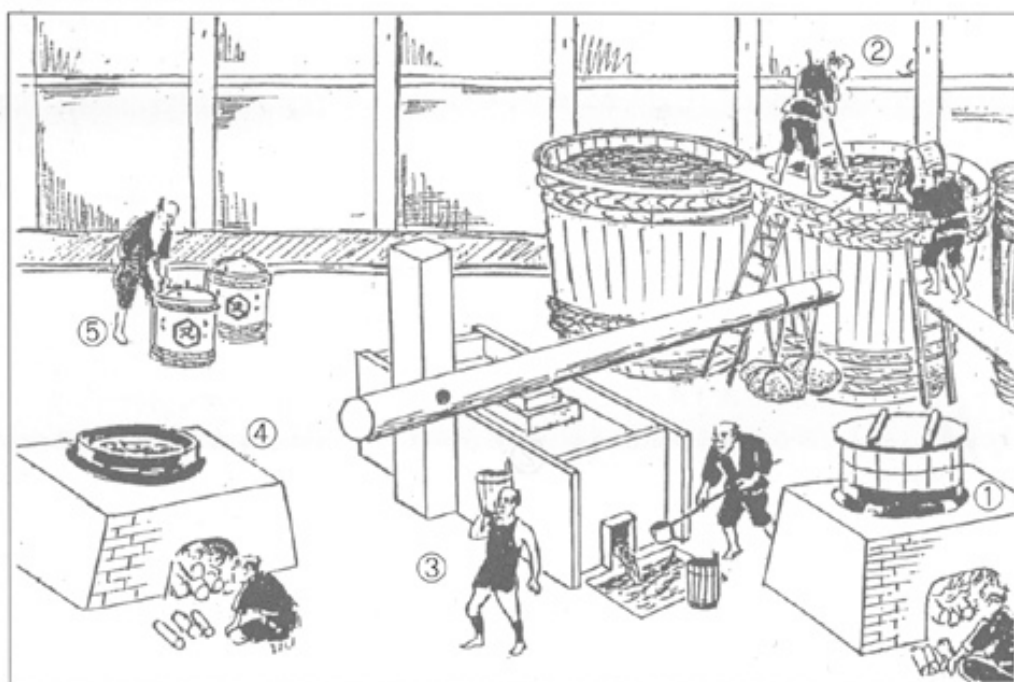
昭和45年、堺市の河又醤油株式会社から醤油部門を引継いで発足した大醬株式会社は、寛政12年、河内屋又兵衛の創業より数えて本年で202年の歴史を持っています。この永い「あゆみ」の中で、特に語り伝えられて来たことは、明治30年代の醤油業界の産業革命に我々の先輩が果たした役割でした。なお今日に通ずる意義を持つ技術革新の概要を述べます。

醤油は、大豆、小麦の植物性の原料を別々に加熱処理し、麹菌を繁殖させた後、食塩水を加えて醗酵・熟成させ圧搾、滅菌、濾過された調味料で、源は中国大陸ですが、現在の醤油の原型が鎌倉時代に我国に伝えられてから、工夫、改良が加えられて、世界に冠たる民族の食品となりました。

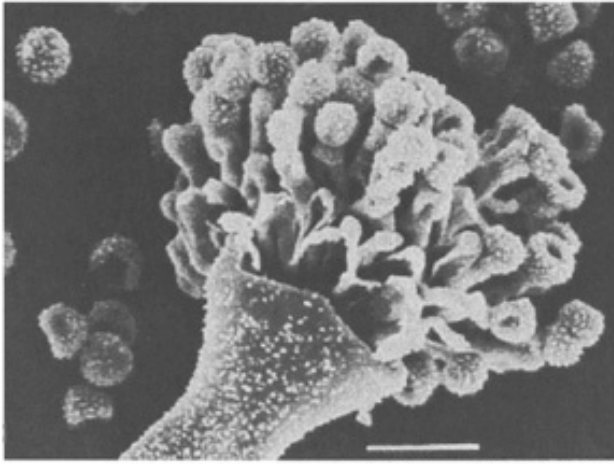
明治16年、若くして家督を継いだ河又の3代目当主河盛又三郎は厳しい肉体労働であった醤油造りをより楽に効率良くすすめられないか、また杜氏の経験と勘にのみ頼って品質バラツキの多かった製品を均質に保つことは出来ないかを模索し続け、明治30年頃から機械・器具の工夫・改良に取り組み始めました。しかし、同業者に参考とすべきものは無く、止むなく他の先進工業の機械化の状況を学び、専門家の意見を聴くために、各地を見学しました。大阪市西区九条町にあり、船のボイラ、水力圧搾機、紡績機等当時のハイテク産業の担い手であった中島三工所、中島一治氏と出会ったのもそ

の頃です。中島氏は、又三郎の構想を聴いて直ちに意気投合し、その後河又の新鋭機械・設備の完成に大きく貢献しました。又三郎は、同業者から道楽者と笑われながら失敗と失費を重ねましたが、明治38年頃までに一連の機械・設備を革新しました。明治39年1月、工場の一部の火災を契機として、一挙に新機械・設備による近代化を断行しました。主な発明・考案は次の通りです。

| | 旧 | 新 |
|--------------------|----------|--|
| 熱源 | 薪 | 蒸気→ボイラーの設置 |
| 原料除塵 | ふるいにかける | 大豆小麦除塵機 |
| 洗滌 | 手動 | 大豆洗滌機 |
| 大豆蒸煮 | 甑(こしき) | 圧力蒸煮缶 |
| 小麦いり | 平底大鍋→臼 | 小麦焙焼装置→割砕機 |
| もろみ管理 (醗酵熟成の促進) | 木製椀による攪拌 | パイプにて、圧搾空気吹込みによる攪拌 (蔵仕事の最大の難事の改善) |
| 圧搾 | はね木式しぼり機 | 水圧圧搾機 |
| 火入れ装置 | 鉄鍋直火焚 | 内釜、外釜の二重釜とし 内外の釜の間に蒸気を通す。 |
| 液体輸送 | | 圧搾空気 で醤油をパイプ輸送した (当時は、画期的こととされた) |



江戸時代の醤油づくり



河又菌（今野菌）の電子顕微鏡写真

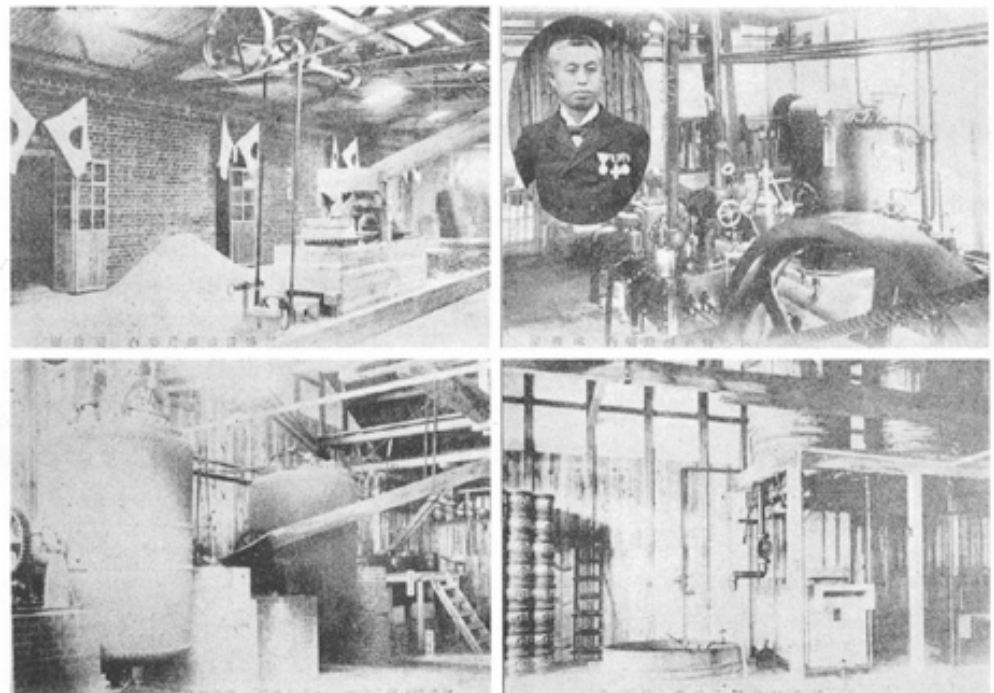
品質面の改良では、明治38年、河又醤油醸造試験所を設立し、技師長に大阪高等工業学校醸造科出身の今野清治（こののせいじ）を迎え、共に研究に当たりました。

当時の醤油造りは、製造場内に浮遊する麹菌を、処理した原料の大豆・小麦に付着させて繁殖させる原始的なものから、やや進んだ方法として、前回出来上がった麹の一部を種菌として使う友麹という方法がとられました。様々な菌が混在している中で優良な友麹を

安定して供給し続けることは、至難の業でした。今野技師長は、醤油造りの決め手は麹菌にあるとして、微生物学の学理を応用して、醸造に適した麹菌の発見に努めました。そして、遂に優良麹菌を見つけ、これを純粋培養しました。

河又菌、後に今野菌と名付けられたこの麹菌は、繁殖力が旺盛で有害菌の進入を防ぎ、仕込後、強烈な蛋白質分解作用で独特の風味を醸し、旺盛な糖化作用で速度のアルコール酸酵を起こして豊かで潤いある香りを生ぜしめました。醤油づくりに初めて科学技術の光が当てられたのです。開発の機械、設備によって取得した専売特許7件、実用新案9件は独占することなく広く業界に公開し、今野菌は全国の希望者に頒布しました。河盛又三郎は、中島一治氏との出会い、そして、何よりも今野清治という得難い技術者を迎えたことで、彼の多年の懸案であった醤油業の革新を、ハード（機械化・量産化）とソフト（醸造技術の品質管理）の両面から実施に移すことが出来ました。

以来約百年の歳月を経た今、私達は先人の飽くなき研究心を鑑として、広く食品工業に進出し、新しい食文化の創造のために日々努力しております。



革新後の河又醤油醸造場（大日本醸造家名鑑 明治41年9月）

〈左図説明〉

- ① 大豆をセイロで蒸す。
- ② 蒸大豆と炒り小麦に麹をまぶし、大桶に水と共に入れ、一年間にわたってカイで諸味(もろみ)を攪拌し発酵させる。
- ③ はね木式压榨機に諸味を入れて、しぼり生醤油を作る。
- ④ 生醤油を鉄釜に入れて「火入れ」して滅菌。
- ⑤ 出来た醤油を樽詰めにして出荷。

第19回 堺デザイン協会 総会及び記念講演会によせる言葉

第19回堺デザイン協会総会及び記念講演会が、成功裡に終了されましたことを心からお喜び申し上げます。

皆様には、日頃より堺市景観賞の審査をはじめ市政の各般にわたり、温かいご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

堺デザイン協会におかれましては、昭和58年の設立以来、会員相互の交流を図るとともに、デザインに関する研修事業や普及・啓発事業に取り組まれ、地域社会におけるデザイン振興に向け、精力的に活動されてこられました。皆様のこれまでのご尽力に対し、心より敬意と感謝の意を表する次第であります。

今、わが国の社会は、急激な少子・高齢化や高度情報化の進展、人々の価値観の多様化など、大きな変革期を迎えており、高齢者や外国人、また男女を問わず誰もが、暮らしやすく活動しやすい環境の整備が重要な課題となっています。

このような中、建物や施設をはじめ様々な製品に至るまでデザインに関しては、すべての人が利用しやすく、すべての人に配慮された「ユニバーサルデザイン」の推進が大きな流れとなっております。

優れたデザインは、私たちの日々の生活に安らぎや潤いをもたらすとともに、経済の活性化にも大きく貢献するものでございます。皆様には、今後ともデザイン活動の振興を通じて、地域社会の発展により一層ご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、堺デザイン協会のさらなるご発展と、皆様のますますのご健勝とご活躍を祈念いたしまして、挨拶いたします。

平成14年6月8日

堺市長 木原 敬介

堺デザイン協会の活動のご報告

事務局

第19回通常総会を開催いたしました。
その後、記念講演会と親睦会を持ちました。

◇第19回通常総会

平成14年6月8日(土)・午後2時より
泉ヶ丘駅前 国際障害者交流センター「ビックアイ」
～活発な質疑のあと、第1号議案、第2号議案とも、
議案書の提案の通りに承認されました。～

◇総会記念講演会～堺をもっと知ろう～午後3時より

講師 瀧口敦基先生(府立岸和田養護高校教諭)
～堺と酒造文化・市庁舎の蘇鉄と三国丘碑～

●瀧口先生は、もっと堺の歴史を知って元気になろう、
と郷土の歴史を多方面から研究されています。

●堺はものの始まりの処で、何でも堺から。お酒は堺
からも造られた文化です。

江戸時代、檜垣回船で江戸へ「下り酒」をする権
利を持つものの一つに「江戸積振泉十二郷」があ
りました。それは 1.大坂三郷 2.伝法 3.北在
4.池田 5.伊丹 6.尼崎 7.西宮 8.兵庫 9.
今津 10.上灘 11.下灘 そして 12.堺の各地です。

●ビールも堺で初めて作られました。

など楽しい、また知らなかった歴史を講演いただき
ました。

◇懇親会・パンジョ「梅の花」・会費制

●開会に際して新顧問に就任戴きました木原敬介堺
市長より、上掲載の祝辞をいただきました。

●来賓者は、堺市市長公室長 鍋島道雄さん、堺市
国際文化部長 花谷壽一さん、堺市秘書部 鶴
埜清治さん、そして堺観光コンベンション協会常務
樋上隆雄さんをご出席されました。

●これからの堺市のデザイン政策も伺い楽しく交流の
会を持つことが出来ました。

堺デザイン協会事務所移転に寄せて

総務担当理事 岡村哲伸

2002年4月1日付けで堺デザイン協会の所在地が変
更になりました。

新住所は

〒599-8112 堺市日置荘原寺町180

株式会社 白石彫刻研究所内

TEL/FAX 072-287-4466

新事務所は南海高野線と阪和自動車道の交点、電車では
南海高野線「萩原天神駅」下車、東南へ徒歩約5分の位
置にあり、駅周辺ではまだ田園やため池が多く見られます。
1997年(平成9年)の堺市役所東支所オープンにあ
わせ周辺道路整備もなされ、拡張された道路に面してマ
ンションが立ち並ぶ姿に変わってきました。

さて、事務所移転受け入れにつきましては、堺デザ
イン協会の諸氏と、弊社、先代 彫刻家白石正義先生との
かかわりも深く、また永く続く経済不況のなか岡村哲理
事長の、みんなで頑張ってくださいの言葉に励まされ
お引き受けさせていただきました。

1999年(平成11年)から2000年(平成12年)



5月にかけて、堺市市制110年、世界民族芸能祭ワッショイ!2000の記念事業として「龍女神像」の設計・施工に至る作品づくりに参画させて頂きました。



「龍女神像」概要

所在地/堺市北波止緑地内(堺旧港北波止突堤)、像の高さ/10m、像の材質/リン青銅製、像の重さ/13t、台座の高さ/16m、台座の形状/八角柱、鉄骨造御影石貼重さ50t、平均海水面から像頂部まで約30m、施主/堺市、受託者/(株)白石彫刻研究所、完成披露/2000年(平成12年)7月27日

原型となる像は1903年(明治36年)に開催された第5回内国勲業博覧会の堺会場となった大浜公園水族館前に設置された噴水器で、意匠は東京美術学校(現:東京芸術大学)図案科助教授千頭庸哉(高知県桂浜の坂本龍馬像の台座設計でも知られる。)が担当し、彫刻科教授竹内久一が制作にあたりました。天王寺会場には同校教授高村光雲が制作した「楊柳観音」が設置されましたが現在では当時の写真でしか伺えず残念です。

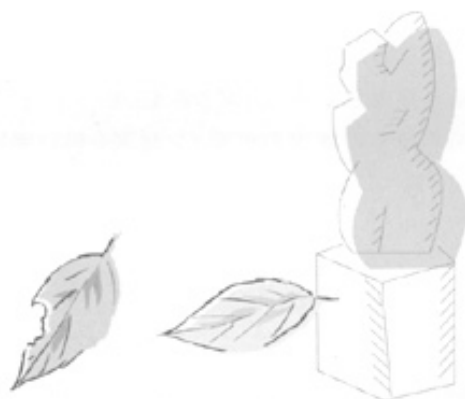
堺市の「龍女神像」は博覧会終了後も修復化粧直しをおこないながら、70数年間「乙姫さん」の愛称で多くの人々に親しまれてきましたが、1961年(昭和36年)の第二室戸台風で大きな被害を受け、その後、水族館とともに解体撤去されました。

白石先生はこの像がなくなるのを惜しみ、頭部や崩れた体の一部を組み立て、像高3mのF・R・P製復元像を制作、1975年(昭和50年)に堺市に寄贈いたしました。今回の拡大像は、この復元像と東京芸術大学美術館からいただいた資料をもとに制作したものです。

アトリエには小さな展示室ではございますが、故白石正義先生の作品を展示しており、あわせて中国の珍しい影彫(板石に鋭利なノミを使った点描画)の作品も見ていただけるよう準備を進めております。また、某寺のご依頼で高さ4.5mの弘法大師修行像の制作に取り組んでおります。

毎週金曜日(19:00~21:00)、土曜日(14:00~16:00)は人物モデルを使った彫刻教室を15年間継続しており、塑像制作に興味のある方は土と戯れ、癒しにお越し下さいますようご案内申し上げます。

堺デザイン協会の新事務所所在地のご案内とともに(株)白石彫刻研究所へ気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。



思い出と美味しいもの、めぐり

『そば焼き』の『トシヤ』

インテリアデザイナー 舘野羊一

ご紹介するのは、「そば焼き」でありまして、『焼きそば』ではありません。

私の住む堺市からは、対岸の神戸から、明石海峡大橋までよく見えます。仲間のデザイナーと久しぶりに神戸ハーバーランドの『モザイク』で黄昏の食事をして居ましたら、右手のクレーンの数本に気が付きました。川崎重工業のクレーンです。そうか、よく通った造船所、こんなに近いのか。そうそうあの頃、帰りに悲しくて食べた、あるいはほっとして食べた『としや』の『そば焼き』はと、ふと新聞地のあたりを思いました。昭和49年頃から来て居ないのか。たいへんだった神戸の大震災もあった。あの2軒あった『としや』は今はどうなのかなと、思いました。

いま、神戸駅から浜側はハーバーランドというベイサイドの賑わいの町の駅です。でも私にとっては、神戸駅や新聞地駅といいますと、造船所のクレーンが動き回る工業地帯のそばの繁華街という印象が強かった



のです。別の人に聞きますと、なんのことかはいまだに分からないのですが、あそこは『福原の浮世風呂』だよと、言います。いやいや、東京の『浅草』のようなところで大衆演劇場と映画館が多くあるよ、とも言うなど、さまざまな思いをおっしゃいます。

昭和50年代までは、日本の造船輸出産業を担う造船所が大阪湾岸に多くありました。堺市には日立造船堺、大阪市には藤永田造船所、佐野安造船所、名村造船、日立造船桜島など。神戸には三菱重工、川崎重工の造船所がありました。

昔、輸出大型貨物船の高級士官室のインテリア設計施工を担当していました。その次は関西汽船や加藤汽船などの客船ブーム。つづいてモーターゼーションの到来で毎年のように大型カーフェリーが建造されました。川崎重工業や三菱重工の神戸造船所へは、JR神戸駅や高速新聞地駅からよく通ったものです。造船所は入所チェックが厳しく、正門で氏名、会社名、訪問先の技師のお名前を書いてから入門します。数十枚のトレッシングペーパーの原紙とチェック用焼き図を見ていただくのです。これは船主への承認申請図であり英語で書き、ジョイナーワークや家具詳細図を1ヶ月ぐらい掛かって設計したものです。広い構内を、騒音と溶接、油の匂いの中を炎天下に歩いて担当技師様を訪問し提案したいインテリア設計を丁寧に説明申し上げます。貨物船ではキャプテン デイルーム、チーフエンジニア ベットルーム、オフィサーメスルームなどの部屋名はご理解いただけと思いますが、『ホイールハウス』『ボースン オフィス』とか『ステベダーオフィス』ってお解りになりますか。

若気の至りでミスがあり、怒られ、訂正をその場でさせられたり、悪い図面の時は、第1ページで赤が入ると、次のページを見ていただけなかったこともあるのです。受け取ってもらえず持ち帰るのですが、こんな時は落ち込んで造船騒音の中を歩き正門の守衛さんに重い頭を下げて退出します。正門を離れると新聞地の商店街。かなり歩いて『まあいいや、やり直した。』と元気が出て来たころに、お食事処『トシヤ』があります。立ち寄って『そば焼き』を食べて元気を出しました。そんな『トシヤ』だったのでした。

久しぶりに「トシヤ」を探すため、新開地を訪ねました。神戸淡路大震災で全く新開地が変ってしまい驚きました。すぐに古く感じられるようなモダン建物がデコボコと並んで居ます。でも少し賑わっている町の人々はまぎれもなく「新開地人」であり、変わっていないようであります。競馬の場外馬券売場があり、大衆演劇の「新開地劇場」も復活建築され、のほりに「恋川純弥一座」とありました。映画館は減ったようですが、新劇会館もありました。そしてその近くに「トシヤ」もまたあったのです。お店は背広姿も、競馬新聞のおじさんも、ご近所の商店主も、時分ときには空き席が無いほど賑わっています。



お食事処「トシヤ」には洋食と和食が混在する。私がお奨めするメニューはまず、「そば焼き」500円。そしておもちの入った鳥か豚の「煮込みうどん」850円。そして、「魚のフライ」850円～であります。新入社員のころはナイフ、フォークを使ってのミックスフライ定食は最高の贅沢な昼食でした。カリッとキツネ色にあがったフライは新鮮な魚とタルタルソースの美味しさとで抜群でした。でも私にとっては昭和41年に出会った「そば焼き」が「トシヤ」のナンバーワンだと思います。「煮込みうどん」のお話は長くなりますのでぜひ訪問して賞味して下さい。

この「そば焼き」はいわゆる「ざる蕎麦」に使われる和そばを使っているのです。これは教えてくれました。そして、この「そば焼き」が、ほぼ真っ黒けなのです。中華の焼きそばの味ではありません。すき焼きにそばをいれて煮詰めたような味ともいえますか。またトンカツソースを使っている大阪難波の中央軒の美味しい「ソー

ス焼きそば」の味でもないのです。上品で「こく」があり、くどくありません。使っているソースを知りたく店のおばさん方に何うのですが、笑って教えてもらえないのです。すこし飛躍しますと、スペインの「いか墨のスパゲッティ」の味に近く、食べると歯も黒くなりそうなのです。

今回も質問しました。

「そば焼きのソースはどんなものですか。」

「いつもご最層にありがとうございます。そば焼き定食ですね、700円です。」

「黒いソースは和食の味ですね」

「ありがとうございます。そばは和そば麺ですよ」

「ソースは？」

「あ、ハハハ、お気にいりましたか。」

「以前は、山陽本線ガートそばにもう一軒ありましたね」

「ハイそうです。以前は三宮にもありまして4軒もあったのです。いまはここの一軒だけです。昭和28年頃からご最層にさせていただいておりますのよ。」

今回は「トシヤ」を右に浜側に出て山陽本線のガートをくぐり、やがて川崎重工業の神戸造船所のレンガ塀の正門を遠望するところまで歩いた。左手の神戸ハーバーランドの賑わいとこの比較でなんとなくため息を付き、図面のミスを怒られて帰るような気分になってしまった。もう造船所からは高級士官区画のインテリアデザインの依頼は無い。客船もフェリーボートの内装工事も無くなった。繕装工事方法も全く違う。いつのまにか変わっている。懐かしい景色のはずが、まるで見も知らない風景のようである。私は山側に向きを変え、もう一度「トシヤ」の前を通過して新開地駅に向かいました。あの真っ黒い「そば焼き」の味だけは、あまり変わっていませんでした。

お食事処「トシヤ」

電話078-575-6658

神戸市兵庫区新開地 6-2-25

地域のデザイン協会で交流しよう

各都市や地域のデザイン協会が、近畿地方に多くあります。それぞれが地域、都市に密接に貢献し、協力しているようです。以前に一度集まったそうですが、再びお声をかけて、久しぶりに集まり、協会同志で交流したいと思います。

大活躍されている協会や、おとなしい協会など様々なようです。まずハガキでご意向を伺いましたら、概ねいいですね、とのご返事でした。発案いたしましたので、ご相談、検討して実現いたしたく思っております。

(社団法人)京都デザイン協会

奈良デザイン協会

びわ湖文化デザイン協会

宝塚デザイン協会

神戸デザイナーズ協会

堺デザイン協会

・・・の、各デザイン協会です。



『表紙の言葉』

9月1日に堺市の大浜公園を散策しました。「旧堺燈台」を見たことが無かったからです。高速道路の高架橋に窮屈そうでしたが、いい設計の燈台です。

大浜公園に山がありました。蘇鉄山といい、海拔6.8メートルです。地図の基点となる一等三角点が山頂にあります。一等三角点がある山で最も高いのは南アルプスの赤石岳(3,120m)ですが、最も低い山は堺市にあるこの蘇鉄山です。地図上で最も低い山は大阪市の天保山(標高5m)です。蘇鉄山登山認定証が登山口の堺駅南口の神明神社で買えます。

蘇鉄山を降りて蓮池を巡りますと、ドーム建築がありました。活気があるのでなにかと、入れてもらいました。「大浜公園相撲場」でした。西日本学生相撲連盟主催で西日本学生個人体重別選手権と女子の西日本選抜新相撲大会が行われていました。声援と号令が飛び交っており、外のけだるい夏の日差しとは異なる別世界を見学しました。

夕方、運動不足を感じたので、初めて日本最大の御陵、仁徳天皇御陵を歩いて一周しました。3kmほどです。

堺市に知らないところはまだありました。 記者



SADA

堺デザイン協会

事務局

〒599-8112

堺市日置荘原寺町180

株式会社白石彫刻研究所内

TEL・FAX 072-287-4466

事務局住所変更のお知らせ

日頃はお世話になり、ありがとうございます。

このたび事務局を上記に移転いたしました。

これを機に一層内容の充実を図る所存でございます。

変わらぬご支援ご指導を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

ご面倒ですがご訂正をお願いいたします。

《編集のあとで》

会報SaDAを遅れましたがお届けいたします。

会員の方の熱心な投稿により、少しページが増えました。賛助会員の方からも寄稿いただき、界の歴史を学ぶことが出来ました。賛助会員の方々は総会にもご参加いただきましたが、もっと多くのかたの出席をお願いいたしたいのです。ご意見や提言を下さい。また会報はいつも投稿をお待ち致しております。研究発表の場所としてもご利用下さい。

今回は『おもしろい、柔らかい発想で・・・する。』というテーマで寄稿をお願いしました。面白い発想で本年度も活動してゆきます。もう一つ、『デザイナーにビジネスチャンスを。』というテーマも掲げています。もっとご意見とアイデアを下さい。そして若い会員を募集し、活力を発揮したいものです。(広報委員会)



会報 SADA 22号

2002年10月

発行 堺デザイン協会

〒599-8112 堺市日置荘原寺町180

株式会社 白石彫刻研究所 内

TEL・FAX 072-287-4466

編集 堺デザイン協会広報委員会

館 野 羊 一 崎 田 公 明